

春播き栽培に適した飼料用トウモロコシ「TX1334」の栽培特性

「TX1334」は、収量性等に優れることから、安定的な自給飼料の確保が可能

背景・目的

- ・飼料自給率の向上のために、収量性等に優れた飼料作物優良品種の選定・普及が必要
- ・県内における飼料用トウモロコシの作付面積は約1,562haで、春夏作面積の約22%を占める重要な飼料作物
- ・飼料用トウモロコシには多くの品種があり、播種時期により春播き、遅播き及び夏播きに区分されており、本県に適した区分ごとの優良品種の選定が必要

成果の内容

「TX1334」の特性

県奨励品種「ゆめそだち」との比較

- ◎ 乾物収量は117%と多収
- ◎ 耐倒伏性に優れる
- ◎ 耐病性は同等
- RM(相対熟度)*は115

*RM(相対熟度)とは、播種日から刈取適期に達するまでの期間(日数)の目安



「TX1334」の草姿

表「TX1334」の栽培特性(H29~R2春播き, 試験地: 県畜産試験場)

品種名	発芽 良否	初期 生育	稈長 (cm)	着雌 穂高 (cm)	倒伏 (%)	折損 (%)	病害				乾物収量			乾物収量の 対県奨励との 比較 (%)	
							苗立 枯病 (%)	ごま葉 枯病 1無~9甚 (%)	すす 紋病 1無~9甚 (%)	南方 さび病 1無~9甚 (%)	乾茎 葉重 (kg/a)	乾雌 穂重 (kg/a)	乾物 総重 (kg/a)		
TX1334(RM115)		1~9極良	1~9極良	200	81	0.7	0.8	6.9	1.3	1.1	2.1	83.1	96.1	179.2*	117
ゆめそだち(RM125, 県奨励)		8.8	7.5	196	86	21.8	4.2	7.6	1.1	1.5	4.8	69.9	82.6	152.6	100

注) 乾物総重について5%水準で有意差あり (t-test)

期待される効果

安定かつ安価な自給飼料を確保

「TX1334」の生産費



注1) 農林水産省畜産物生産費統計 (H29.30年度) をもとに算出
2) 調製前 (収穫時) までの生産費である

○普及対象・範囲

県内の乳用牛農家, 肉用牛農家

鹿児島県農業開発総合センター
企画環境飼料部草地飼料研究室
(民間委託)